

平成16年 山桜会新年会のご報告

実行委員長 大高24期 重里 欣孝

1月17日(土)、リーガロイヤルホテル(大阪市北区中ノ島)におきまして、山桜会新年会が開催されました。

当日は、OBでもある吉川裕之さん率いる、サウスサイドジャズカルテットとジャズシンガーキャンディー浅田さんをゲストに迎え、生演奏を堪能いたしました。さらに本年度は景品抽選会も例年と幾分スタイルを変えて実施いたしました。いたらぬ点も多々ございましたが、皆様のおかげをもちまして、参加数239名と大盛況のうちに幕を閉じることができ、良い年を迎えるにふさわしいご挨拶ができたことと思います。

ご参加いただいた方々、そして、ご尽力いただきました役員の方々に、誌面をお借りして、お礼申し上げます。

この会報が発刊されるころには、次年度の新年会の準備がはじまろうとしています。次年度も皆様のご協力よろしくお願いします。



世代を超えて



中高等学校(茨木)演劇部
府大会最優秀賞受賞に対して
新年会で表彰しました。

小75期同窓会

平成16年4月10日(土曜日)

『私たち追手門学院小学部75期生(1964年3月17日卒業)は、6年間の思い出を、もう背負うことのないランドセルに詰め込んで、今年でちょうど40年を迎えます。』と中西耕一君の呼掛けで、い・ろ・は組の同窓会を開催致しました。懐かしい校門や講堂はもう無かったのですが、校舎から見る大阪城そして母校を温かくじっと見守ってくれた、校庭の『くすのき』を見ていると、誰からともなく歓声とも聞き取れるざわめきと、40年前のランドセルから取り出した思い出話に花を咲かせました。伊勢田校長先生の案内に、当時のままに残してある教室に入るなり、どよめきから無口になり、あたかも『お帰り』と声を掛けてくるかのような空間でした。木製の椅子にお腹をへこめながら自ら座り、温もりを確かめ、黒板を見つめているとあの時の先生の声が皆に聞こえてくるようでした。卒業してそれぞれの時間が過ぎたのですが、記憶をたどり、当時の気持ちに戻るには40年では長いうちには



ならないのか、自分の年も忘れ若返って、ともに楽しい時間をすごしました。学校から出て別会場では、杉下・梶田両先生を交え、一人一人の現況や家族の事を語り、これからの夢や友情を確認しあって、思い出をランドセルに一つずつ詰め直すには時間が足りないのか、惜しんで解散になりました。家に帰宅してからは、再会した旧友の話や家族に話しているうち、自分も頑張り、リフレッシュ出来る生活を送れるのだなと・・・また会おうぜ!

(小75期 生川 紳一郎)

賛助金

吉松 利章 中8高8

佐々木 智子 茨高26

西田 尚子 小85大中28茨高28

橋本 由美子

(敬称略順不同)